

人口ビジョン及び総合戦略の中間案に対するパブリックコメント結果と対応について

No.	ご意見のタイトル	ご意見の要旨	対応案
1-1	2025年人口70万人維持	なぜ、「維持」をしなければならないのか。減少は、なぜ、だめなのか。この点について、考察がなされていない。	人口ビジョン:「Ⅱ-2 人口減少が経済社会に与える影響」に示したように、人口減少は地域の産業経済や市民生活に大きな影響を与えるため、地域の活力を維持していくためには、人口も維持していく必要がある。
1-2	2025年人口70万人維持	70万人維持は、難しい事ではない。「6つの戦略体系」を掲げなくても、ごく身近にやれることがあるのではないかと。(私案) ・住みやすい静岡市	総合戦略のほか、3次総の各取組により、「住みやすい静岡市」の実現に取り組んでいく。
1-3	2025年人口70万人維持	70万人維持は、難しい事ではない。「6つの戦略体系」を掲げなくても、ごく身近にやれることがあるのではないかと。(私案) ・働きやすい(男性にとっても女性にとっても)静岡市	総合戦略:戦略5の重点事業①「しずおか女子きらっ☆推進事業」などにより、男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくっていくこととした。
1-4	2025年人口70万人維持	70万人維持は、難しい事ではない。「6つの戦略体系」を掲げなくても、ごく身近にやれることがあるのではないかと。(私案) ・安心してらせる静岡市(子育て、老人にとって、病人にとって)	総合戦略:戦略5、戦略6の各取組などのほか、3次総の各取組により、「安心してらせる静岡市」の実現に取り組んでいく。
1-5	2025年人口70万人維持	70万人維持は、難しい事ではない。「6つの戦略体系」を掲げなくても、ごく身近にやれることがあるのではないかと。(私案) ・貧困者も安心して暮らせる静岡市(経済格差は、今の政治のままでは、なおひどくなることははっきりしている。そういう中でも安心できる)	総合戦略:戦略5の重点事業③「静岡あったか家族応援事業」の中でこどもの貧困対策に取り組むこととしたほか、3次総の各取組により、「貧困者も安心して暮らせる静岡市」の実現に取り組んでいく。
1-6	2025年人口70万人維持	市役所内に働く者のなんでも相談窓口を設置し、人権、労働、福祉の職員を配置するなど、「若者が安心して働ける静岡市」を伝えることが、人口の解決になることはまちがいない。	総合戦略:戦略5の重点事業①「しずおか女子きらっ☆推進事業」の中で仕事と生活の調和の推進に取り組むなどにより、「若者が安心して働ける静岡市」の実現に取り組んでいく。
2-1	交流とプレゼンスを高める	「Shizuoka WiHi Paradise」で整備された無線アクセスポイントを活用し、コンテンツ(観光・店舗情報等)の多言語化、来訪者位置情報によるコンテンツのPUSH配信等により、回遊と消費を促進できる情報発信基盤を整備する。	総合戦略:戦略1の重点事業③「観光交流活性化推進事業」の「安心・快適な観光を支える受入環境の向上」の具体策として参考とする。
2-2	交流とプレゼンスを高める	店舗等屋内のみ利用可能なWiHi接続環境に加え、戦略的観光コースとして造成された屋外ストリート全体で利用できるWiHi環境を整備する。	総合戦略:戦略1の重点事業③「観光交流活性化推進事業」の「安心・快適な観光を支える受入環境の向上」の具体策として参考とする。
3	「しごと」を産み出す	誰もがICTの恩恵をうけることができ、便利・効率・活気の実現に向け、システムインテグレーター等の企業を誘致、または、育成する。	総合戦略:戦略2の「企業誘致」などの参考とした。
4	女性の出生率、定住化向上	ママ・プレママ向けの情報誌(フリーペーパー)を発行する。 [情報誌の要点]①プレママ、ママが知りたい情報を「地域の情報」として集約・整理して発信、②静岡市の出産・子育てに特化した情報、③読者50-100程度を組織化し常にマーケティングサイクルにより充実 (詳細は別途資料あり)	総合戦略:戦略5の重点事業③「静岡あったか家族応援事業」の中で子育て支援策の参考とした。

人口ビジョン及び総合戦略の中間案に対するパブリックコメント結果と対応について

No.	ご意見のタイトル	ご意見の要旨	対応案
5	区ごとの対策が見えるようにすべき	人口ビジョンに区ごとあるいは学区ごとの人口動態の分析があるため、その結果を総合戦略に活かした方がよい。区ごとの対策が見えるように、区ごとに目指すべき方向性やターゲット世代やエリア等を示したり、区ごとの具体的取組、戦略的エリア等を明記したりするのがよいのではないか。	総合戦略:区ごとの対策等については、今後のPDCAサイクルの中で検討していく。中山間地については、戦略3の重点事業③「中山間地域への移住に向けた支援事業」のほか、戦略6にも取り上げるなどした。
6-1	戦略体系 さらに2つの体系の加筆を	次の二つの戦略を加えるべき。 7 縦割りでない1～6の総合戦略(仮称)。総合調整の必要性	総合戦略:「V 推進体制等」に位置付けた全庁組織「(仮)静岡市総合戦略推進本部会議」により、全庁的な総合調整を図ることとした。
6-2	戦略体系 さらに2つの体系の加筆を	次の二つの戦略を加えるべき。 8 区ごとの戦略(仮称)。市一括では、エリアが広いいため、区ごとの戦略や具体的取組、戦略的エリア等を記述していくべき。	総合戦略:区ごとの対策等については、今後のPDCAサイクルの中で検討していく。
7	政令市静岡として、紙幅の許す限りPRすべきものを一層明確に加筆を	スペースの許す限り、観光資源や関係事象のよりいっそうの具体的な加筆により、PRすべきものを明確に記述すべきではないか。	総合戦略:各戦略の「(3)課題と背景」に、本市の地域資源や強みをできる限り明記するようにした。
8	「[しごと]を産み出す」いっそう具体的に記述を	仕事・雇用がなければ生活できない＝定住人口は増えない。重要な項であるだけに、記述が薄く、具体的にどんなしごとを産み出すのか十分に伝わってこない。特に、第3段落では、5つの戦略産業をすべて記述すべき。市民目線・静岡市に移住を考える他市在住目線で、第2次産業振興プランを参照しなくてもわかるように記述すべき。	総合戦略:戦略2の「(3)課題と背景」に5つの戦略産業を明記したほか、取組についても、出来る限り具体的な記述に努めた。
9	各都心をつなぐ導線上のまちづくりとして、若者世代が憧れる消費生活の賑わい拠点を	これから長く定住してもらおう契機となるよう若者世代に魅力的なまちの創造をお願いしたい。静岡・東静岡・清水を核としたコンパクトなまちづくりに賛同するが、各都心をつなぐ導線上のまちづくり・賑わいも並行して考え、人口維持に向け、ただでさえ、平野部が狭く、コンパクトな静岡市のまちづくりに厚みを持たせたい。一例であるが、イケアやコストコなどの出店を促したい。ここでのポイントは、店舗の数を増やすことでなく、若者・ファミリー世代が憧れる店舗でなければならない。一方で、若者世代の流入により、既存商店街においてはその伝統的なよさを生かしつつ、後継者の発掘やリニューアル等も誘発されると考えている。	総合戦略:若者世代に魅力的なまちについては、戦略1に「まちは劇場」を位置づけ、創造的な文化都市づくりを行うこととした。中心市街地の賑わいや魅力向上に係る取組は、3次総に位置付けている。
10	より広いエリアとの広域連携の推進により、政令市としての機能・風格を高める	県中部5市2町との連携では、政令市としても足りないのではないかと。より広いエリアを見据えるべき。静岡都心は、かつての駿府であることから、駿河の国である富士川以東の地域とも相互広域連携を徐々に進めるべき。さらには、甲信エリア(山梨県南西部)とも、これまでの連携交流都市による取組以上の拡充を図りたい。また、こうした発想・着眼を19ページの具体的取組に落とし込むべき。	総合戦略:戦略6により、まず、5市2町連携を進めることとするが、富士市、富士宮市との連携についても、今後、視野に入れて取り組んでいく。

人口ビジョン及び総合戦略の中間案に対するパブリックコメント結果と対応について

No.	ご意見のタイトル	ご意見の要旨	対応案
11	記述の具体化	取り組む内容をもう一段深く具体化した記述をお願いしたい。何に取り組むのか、どのエリアに集積、用地等の確保をするのか、どういった分野の中小企業支援なのか、例をあげるなどの記述をしなければ、何をしたいのか伝わってこない。	総合戦略:できる限り、具体的な記述に努めたが、今後、事業の予算化やPDCAによる見直しの中で、さらなる具体的記述に取り組んでいく。
12	せめて区ごとの人口目標や具体的対策の策定を	具体的に、静岡市のどこに、どの程度の人口規模の移住・定住を促したいのか見えてこない。市全体で70万人の維持としているが、区ごとでは、あるいはエリアごとでは、どの程度の人口規模の社会増・自然増を考えているのか。そのあたりまで目標としての数値を示さなければ、市全体の目標は到達できないのでは。 また、戦略的なエリアでは、今の時代にふさわしい福祉・教育・医療・買物等の日常生活・周辺環境とセットになった、宅地・マンション等開発の包括的支援策などが、各エリアの特色に応じて必要ではないか。 人口流出の予防のため、現住者(移住者)に対するリフォーム支援なども考えてはどうか。こうしたことも明記すべき。	総合戦略では、面的な人口誘導は示していないが、今後、PDCAサイクルの中で、そうした面的な配置の必要性について検討していく。
13	全体を通して	政令市最少人口、政令市要件陥落の危機感、対策の具体性が十分に伝わってこない。従来の発想の寄せ集め感が否めず、人口減に追いつかないのではないかと危惧する。現実性に留意しつつも従来の発想を超えた取組の実施でなければ、人口減の流れの克服は無理筋ではないか。	本市の総合戦略は、地方創生の視点により、3次総の取組を加速させるために必要な施策等を位置付けたものである。今後も、PDC Aサイクルを行う中で必要性が生じた取組を、従来の発想にとらわれずに推進していく。
14	移住・定住を促進する	静岡市のライフスタイルを紹介していけば、移住希望者に静岡市の生活のイメージも徐々に一般に根付き移住希望者が増えます。そのような説明が不要のUターン希望者への手厚い対応も移住を促進すると思われます。静岡市での市民は人口減少問題の深刻さを実感しておらず、人が減っていることが目に見えてわかるような他市町村とは当然支援策も異なるものになるでしょう。移住者を積極的に受け入れている地域の紹介や、仕事のきめの細やかなマッチング、情報共有、移住希望者の市でのフォロー体制の確立など、どうぞよろしくお願ひ致します。	総合戦略:戦略2及び4の中で、移住希望者と仕事のマッチングや情報共有、フォロー体制の確立などを取り込んだ。
15	総花的との評価について	よく分析して課題に取り組もうとしている総合戦略だと思います。総花的と批判されているとのことですが、それでいいと思います。むしろそれが静岡市らしさだと思います。平均点が少し高い、普通をよしとする、様々な要素のある静岡市のよさを一言にまとめるのはとても難しいです。ただ、これをどうにか一言でまとめるとすれば、「健やか」という言葉が近いと考えています。「健やか」は体だけでなく精神的な健康も含まれ、気候、食材、歴史、文化、市民性、人柄、生活習慣のようなことを総合して示せるように思います。パンチはないですが、音として「か」が静岡と共通するので悪くはないかと思っています。「すこやか、しずおか」どうでしょうか。	「すこやか」というアイデアは的を得ていると考える。今後、市のキャッチフレーズを検討する際に参考とする。